

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37137	
事業名	子どもの体験活動の場支援費						
評価担当課	所属名	子)子ども育成 子どもの権利推					
	課長名	山縣 浩子	担当者名	豊岡 潤平、中村	電話番号	011-211-2942	
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	子どもの多様な体験活動や多世代交流・地域連携に資する活動を行うことができる場を提供する。				
		長期	子どもの自立性・社会性を育成するとともに、地域全体での子育てや地域コミュニティの活性化を促す。				
	取組内容	子どもの自立性・社会性・創造性を高めるために、各団体や地域住民等と連携しながら、様々な分野の多様な体験活動の機会を子どもに提供する。 旧真駒内緑小学校跡施設「まこまる」において、プレーパークや自然・文化体験など、多様な体験機会を子どもに提供する子どもの体験活動の場「Coミドリ(こみどり)」の運営を支援する。具体的には、運営事業者への建物及び土地の無償貸付及び補助金の交付による。					
実施結果	プレーパークや様々な分野の多様な体験プログラムを提供し、子どもの自立性・社会性を育むことに貢献した。緊急事態宣言発令中は休館となったため、年間の開館日数はコロナ禍前より少ない120日となったが、人数制限を設けたプレーパークや、オンラインを活用した体験プログラムの開催など、感染症対策を講じた事業の実施により、来館者数は前年より4,343人増加し、5,373人となった。						
事業実施における工夫点	毎週3回以上開催の常設型プレーパークの展開と、子ども目線で考えた自主性・社会性の育成を促進させるための多様な体験活動を提供した。						
対象者	市内全域の子ども			開始	平成27年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	類似している施設 大阪市:にしなりジャガピーパーク(廃校活用) 京都府篠山市:篠山チルドレンズミュージアム(廃校活用) 新潟市:新潟市こども創造センター(廃校活用ではない)						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	30,887	32,000	30,113	34,000	
うち特定財源	383	573	392	468	
人工	0.6	0.6	0.6	0.7	
人件費	4,320	4,320	4,320	5,040	
計(事業費+人件費)	35,207	36,320	34,433	39,040	
事業費の内訳	令和3年度決算	子どもの体験活動の場運営補助金27,251千円 子ども育成部所管部分光熱費等123千円 市有施設保全サポート業務委託料2,739千円 (うち特定財源:市有施設保全サポート業務各事業者負担分392千円)			
	令和4年度予算	子どもの体験活動の場運営補助金26,993千円 子ども育成部所管部分光熱費等128千円 市有施設保全サポート業務委託料3,262千円 施設修繕費3,617千円 (うち特定財源:市有施設保全サポート業務各事業者負担分468千円)			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	来館者数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	1,030人	5,300人	5,373人	9,800人
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	プレーパークや様々な分野の多様な体験プログラムを提供するとともに、花壇や畑等を利用した多世代交流、地域連携事業を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、5月3日から7月11日、8月27日から9月30日まで休館するなど、コロナ禍前と比べて来館者数は減少している。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	募集要項、補助要綱に定められた基準をベースに適切に運営されている。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、プレーパークや体験プログラムの人数制限を設けるなどの措置を講じながら事業運営している。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	民間の力を活用し、予算の範囲内で対象者のニーズに合った魅力的な事業が企画展開されている。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	体験プログラム終了後に行っている事業アンケートでは、「とても楽しかった。」「毎週Coミドリに通いたい。」という回答が多く、プレーパークを行う冒険遊び場では子どもが遊べるトンネルの造成、ポンプや廃タイヤの設置により、いきいきとした姿で遊ぶ子どもの様子が見られる等、満足度の高い事業であるといえる。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度で大幅に落ち込んだ来館者数は、令和3年度は一定程度増加したが、今後も来館者数を増やすべく、SNS等を利用した広報活動を実施することで、Coミドリ事業の普及啓発を図る。			
前回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	自然体験や芸術・文化体験など多様な体験機会を提供しており、子どもたちの豊かな人間性を育み、創造性を養うことにより、健全育成に大きく寄与している事業である。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 「子どもの体験活動の場」運営支援を継続		
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 「子どもの体験活動の場」の運営のための補助金及び必要な施設維持管理に係る適切な予算措置を行う。		見直し効果額 0 千円